

# 生産者紹介

林代表に聞く

## フロンティア仁木

住所：〒048-2411

北海道余市郡仁木町東町9丁目13番地

電話：0135-32-2117

代表：林伸一

特別栽培者：林伸一、河野孝雄、中川敏一、林論佳、西澤義治

### 冷涼な気候を活かした特別栽培トマト

私は30年ほど前からトマトづくりを始めました。病害虫の発生が少ない冷涼な気候を活かして、農薬を控えた栽培に取り組み、特別栽培の認証を受けました。

私たちの大玉トマトは、東京青果（東京都青果物商業協同組合）さんのこだわり園芸課が推奨している「さやかな逸品」の中に選ばれています。糖度も酸味もあり、夏向きの爽やかなトマトとして好評だそうです。

### フロンティア仁木の5人の仲間たち

フロンティア仁木として出荷を始めて6～7年、生産者は5人で、4人が主に大玉トマト、1人がミニトマトと「アイコ」を作っています。全員、特別栽培の生産者です。

栽培面積は5人合わせると290a、今年の生産目標は大玉トマトが22,000kg、あいこが7,000kg、ミニトマト5,000kg、新たにパルトという品種が5,000kgです。生産量は若手生産者が1名増えたので大幅にアップします。

栽培の勉強は一緒にやりますが、土づくりはそれぞれの生産者が工夫し、自由に取り組んでいます。というのも、同じ仁木町でも私のところは粘土質、ある生産者は石ガラと、土質が大きく違うからです。私のところでは有機質が多いので、排水をよくするために稲わらを多投して病気の発生を防いでいます。肥料は、カニガラ、ぬかなど人間の食べ物から作ったものを使っています。

### 限りなく有機に近い栽培をめざして

化学肥料は慣行栽培の5割以上削減しています。気候が安定しない年もあるので、すべてやめることはできませんが、窒素分を減らし、木を大きくしないよう心がけています。

農薬はほとんど使いません。栽培中、多くて2回、通常は1回です。何よりも病気が出ないように、丈夫な木に育てることを大切にしています。

このあたりは雪が多いため、冬場は来る日も来る日も除雪作業です。骨の折れる仕事ですが、この雪と大地の凍結が、春になって溶け出し、いらぬもの、大地の老廃物を洗い流してくれるように感じています。だからこそ良い土となり、美味しい作物を育ててくれるのだと。

### 購入できる場所は

私たちの生産したものは9割が東京青果さん、1割が北海道帯広に本社のあるスーパー「ダイイチ」です。首都圏では特定の店を案内できませんが、八百屋さんの店頭で「さやかな逸品」というシールのあるトマトを見かけたら、ぜひ買って食べてみてください。

